

Quarterly
クォーターリー

高千穂

卒業特集号

2014/3 Vol.46



高千穂大学卒業式



理事長より卒業生へ



「人生80年時代」・「経済成熟化社会」に 対応可能な努力を継続せよ。

理事長 藤井 耐

4年間における高千穂生活を過ごし、いよいよ経済的・職業的・社会的自立に向けスタートする時を迎えることとなりました。

卒業おめでとう。心より御祝い申し上げます。又、御父母各位におかれましては、4年間に渡ります本学園への様々な御支援・御協力に対し、厚く感謝の意をお伝えさせていただきます。

さて、卒業生の皆様、あなた方が歩むこれからの人生ステージ、どのような特徴にて捉えられるのか。いくつか提示しておきましょう。

まず第1は「人口減少・少子高齢化」ですね。冒頭タイトルにも記しました通り、既に日本人の平均寿命は男女共に、80歳を越えました。あなた方はこれから約38年間(60歳定年)、あるいは、43年間(65歳定年)に及ぶ組織生活・職業生活に従事したうえ、さらに、20年間に渡る老後生活を送

ることになります。組織人・職業人としての現役生活を着実に歩み続け、着実なる現役生活の実践により、その後の老後生活に必要な不可欠なる諸条件を蓄積して下さい。

第2は、自らの経済的基盤でもある組織は、既に「市場成熟化状況下」及び、それに伴う「経営グローバル状況下」におかれているということです。このことは、組織を構成する1人1人の組織人に対し、より多くの能力、たとえば、知識創造能力等が要請されているということであり、あなた方はその要請に応えていかなければならないのです。「市場成熟化・経営グローバル化」の下での職業生活における必然的要請として捉え努力して下さい。

第3は、「新核家族化」と呼びうる新たな家族構造の顕在化ということです。我が国における「核家族(化)」は、昭和30年代・40年代にみられた

高度経済成長期、長男は地方に残り、「家」を継承し、2男、3男が「職場」を求め大都市圏に移動し、そこに新たな自らの家庭を築いたことにより形成された家族構造でした。しかし、今日の家族構造は大都市圏・地方共にその多くが「両親と子供(1人ないしは2人)」からのみ構成される「新核家族化」の時代を迎えたということです。「自律的親子による親子共生型家族構造」の到来です。すばらしい親子関係を形成して下さい。

以上の如く、あなた方の人生ステージは、今までの日本人が未だ経験したことのない新たな特徴を有する社会とも言えるでしょう。自らの自律的努力と、御両親との協力関係の基、着実なる人生を歩んで下さい。それでは、時には、母校高千穂に足をお運び下さい。お待ちしております。



心豊かに、そしてご活躍を

学長 並木 雅俊

卒業おめでとう。

みなさんは、入学してからこれまで、講義やゼミなどを通じて、多くの学問の基礎とそこからの知識探求の方法や問題解決のためのアプローチの仕方を学んできたことと思います。しかしながら、これら多くの知識を頭に詰め込んだだけでは、自分のものにはなりません。押しつけられた(と思っている)勉学が身に付きにくいことに似ています。学んだ多くの知識をつなぎ合わせて、新たな知識として自分の頭の中で構築してみてください。すると、一つの知識が他の知識とつながり、新たな知識となって自分のものになっていきます。この知識の接続は、脳が記憶や学習を行っているメカニズムと類似しているので、有効に機能するはずですよ。

「学んで思わざれば則ち^{すなわ}罔し、思^{くら}うて学ばざれば則ち^{すなわ}殆^{あやう}し」。これは孔子の言葉です。やみくもに詰め込んだり、また先生から教えを受けただけでは、知識の量は増えますが、自らの知恵とはなりません。自分の頭でしっかりと考えないと焦点があやふやになり、混乱に陥ってしまうことがあります。また、自分だけで考えたことだけで結論をださず、その知識は不安定であるばかりか、疑わしくもなります。自分が思ったこと、自分で考えたことが、本当に妥当性があるのかどうかは、多くの文献あるいは他の人の意見に照らし合わせてみるのが大切です。独断や思い込みは禁物です。学ぶことは、謙遜を知ることでもあります。考えながら学ぶ、あるいは学

びながら考えることの調和が必要だと、この言葉は教えています。

みなさんは、これから社会の一員として独り立ちしていくことになります。しっかりと道^{みち}を歩むために、日頃から道標^{みちしるべ}をつけてくれる人あるいは手本となってくれる人を意識的に探してみましょう。そんな人を見つけたら、その人の行動をよくみて真似をし、試行錯誤を繰り返すなどをして自らの成長につなげてください。心の支えにもなるはずですよ。

4月からの生活では、仕事の面あるいは心の面において、壁にぶつかることがあるかと思いますが、どうぞ心と体の健康を保ち、本学の指針「常に半歩先立つ進歩性」をもとに、さらなる成長をされることを願っております。

もう一度、卒業おめでとう。

同窓会会長より卒業生へ



若者として無限の可能性に挑戦しよう

高千穂学園同窓会 会長代行 池田 惇

第62期の卒業生の皆さま、ご卒業誠におめでとうございます。高千穂の4年間の大学生活はいかがでしたか。数多くの信頼できる友人との交流、ゼミでの活発かつ真摯な議論等自分自身を切磋琢磨し続けた、有意義で充実した大学生活であったことでしょう。

一方、日本経済の長期にわたるデフレ不況のなかの学生生活は、経済的に決して恵まれた環境とは言えず、また就職活動は極めて厳しい雇用環境から困難な局面が続き、ご苦労の多い4年間であったものと推察いたします。

皆さんはここに晴れて卒業し社会人として夢多き一歩を進めることとなりました。つまり自己責任をもって自立した人生を歩んでいく、一つのターニングポイントが到来したといえます。

卒業、就職という人生の大きな節

目にあたり、今までお育て頂いたご両親へ心からの感謝の念と、また諸先生から薫陶よろしきを得たことに、深甚なる謝意を表すことも忘れてはなりません。

私は、皆さんが歴史と伝統ある高千穂大学で学んだキャリアに、自信と誇りをもって立派な社会人として、巣立っていくものと期待しております。

一方、皆様を受け入れる社会のなかでも企業は、生き残りのため人員削減はもとより、徹底した効率化を実践し、さらなるリストラ効果の実現をめざしております。そのような状況下各企業は、中長期的観点から若い社員の力を如何に引き出して、収益力のある自社を創造出来るか、経営の重要課題と位置付けて取り組んでおります。

時あたかも、華やかな平和の祭典冬季五輪が、ロシアのソチで開催さ

れ熱戦が繰り広げられました。なかでも注目すべきは、若い日本代表選手の大活躍ぶりが報じられております。新進気鋭の選手は、大舞台の大会を経験するたびに想像を超えた信力がたい力を発揮するとよくいいます。

それは皆さんも同様です。やはり若者には、社会あるいは組織を変え、無限の可能性パワーが秘められ備わっているということです。どうぞ新社会人として失敗を恐れず、自分の無限の可能性を信じ、何事にも積極的に挑戦する姿勢を長く持ち続けてください。そのためには自己実現のためたゆまぬ研鑽を積み、あらゆるノウハウ知識を貪欲に吸収し視野を広げ、不断の努力を積み重ねていくことが肝要です。

皆さんの旅立ちを心より祝い、輝かしい将来を信じ、ご健闘をお祈りします。

同窓会活動のご案内

ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、卒業されますと高千穂学園同窓会の会員となります。心より歓迎いたします。

同窓会会費は、在学中に卒業後25年間分を納入していただいております。

同窓会の会員数は32,000人で、北は北海道から南は宮崎県まで全国に地区高千穂会が27支部あり、それぞれ活発な活動を行っております。

同窓会の主な活動についてご案内いたします。

○同窓会総会、評議員会、懇親会の開催（案内）

平成26年度総会と懇親会は5月24日（土）午前11時より、評議員会と忘年懇親会は12月6日（土）午前11時より、それぞれ学内で開催いたしますので友人とお誘い併せの上、先輩諸兄と交流の場としてご活用下さい。

開催案内はその都度、同窓会から皆様のご自宅にご案内いたします。

○同窓会会報誌「TAKACHIHO」の送付

会員の皆様をつなぐ会報を年2回発行お送りしております。内容は、学園・大学の近況報告、会員からの投稿、各支部の活



群馬県高千穂会設立総会・懇親会（於 高崎市）

高千穂学園 同窓会事務局

動報告、大学のクラブ・ゼミ活動の近況など様々な情報を取り上げております。

皆様からの投稿や近況報告などをお待ちしております。

○会員名簿の整理（お願い）

名簿の管理は同窓会の最も大切な任務であり、また会員の個人情報等を慎重に取り扱っております。住所や勤務先の変更がある場合は速やかに同窓会事務局へお知らせ下さい。

ご意見やご要望等がございましたらメールでお問合せ下さい。E-mail: dosokai@apricot.ocn.ne.jp

○地区高千穂会への参加（案内）

同窓会地区高千穂会は、現在全国27支部があり、それぞれ親睦会を開催しております。開催案内は地区高千穂会から発送いたしますので是非参加し、OB・OGとの交流を図ってください。

○ホームページによる情報の提供

ホームページには同窓会の年間活動状況などの情報を随時掲載いたしますのでご覧下さい。

<http://www.takachiho.ac.jp/>

（大学のHPから「卒業生の方へ」をクリックしてください）



同窓会新会員歓迎会（於 セントラルスクエア1階）

地区高千穂会一覧表

支部名	会長	卒回	住 所	通信員	卒回
北海道高千穂会	吉田 兵一	大学21	〒071-1224 上川郡鷹栖町北野東四条3-2-1	野西 光一	大学32
青森県高千穂会	小山内 明	大学19	〒030-0915 青森市小柳 6-15-5	珍田 大吾	大学47
岩手県高千穂会	菊地 幸吉	大学22	〒023-0003 奥州市水沢区佐倉河字九蔵田 83-1	神貴 静夫	大学24
宮城県高千穂会	佐藤 尹昭	旧中34	〒981-3201 仙台市泉区泉ヶ丘 2-13-17	小山 裕寿	大学28
秋田県高千穂会	菊地 定夫	大学19	〒010-1424 秋田市御野場 2-13-14	星宮 弘宣	大学21
山形県高千穂会	長岡 克浩	大学34	〒990-0861 山形市江保 3-17-14	北村 潤	大学40
福島県高千穂会 会津地区	大塚 敏久	大学27	〒965-0857 会津若松市柳原町 2-7-21	小野 恭史	大学56
福島県高千穂会 中通地区	八巻 正衛	大学18	〒960-0231 福島市飯坂町平野字道南 10	谷野 信夫	大学25
福島県高千穂会 いわき地区	草野 洋治	大学17	〒971-8101 いわき市小名浜字本町 26	瀬田 恒靖	大学18
茨城県高千穂会	高橋 正健	大学18	〒302-0021 取手市寺田 4695-6 イオモール107	鈴木 知明	大学45
栃木県高千穂会	高松 利光	大学19	〒321-0944 宇都宮市東峰町 3008-17	奥山 茂	大学30
群馬県高千穂会	岩井 孝夫	大学22	〒375-0041 藤岡市緑葉 306-5	境野 稔	大学36
埼玉県高千穂会	長野 勝	大学22	〒343-0004 越谷市大松 76	大内貴實雄	大学36
千葉県高千穂会	湊川 国威	大学14	〒273-0116 鎌ヶ谷市馬込沢 6-4	藪田 徹心	大学32
東京都高千穂会	山本 雅道	大学20	〒190-0033 立川市一番町 2-11-46	横川 浩一	大学36

支部名	会長	卒回	住 所	通信員	卒回
神奈川県高千穂会	柴田 学	大学14	〒259-0113 中郡大磯町石神台 1-7-14	吉田 孝一	大学18
山梨県高千穂会	古屋 久	大学18	〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1684	坂本 正臣	大学29
新潟県高千穂会	荒川 敏幸	大学29	〒940-2033 長岡市上除町甲 1760-2	藤井 英雄	大学36
石川県高千穂会	荒木 雅之	大学28	〒920-0341 金沢市寺中町チ-29-5	柴田 昇	大学28
静岡県高千穂会	会長代行 山本 正平	大学8	〒421-0523 牧之原市波津 793	土方康太郎	大学20
東海高千穂会	山本三雄彦	大学31	〒464-0092 名古屋市中千種区茶屋が坂 1-18-8	仲 立貴	大学47
関西高千穂会	林 万佐夫	大学22	〒616-8426 京都市右京区嵯峨二尊院門前住生院 15-1		
広島県高千穂会	西林 洋治	大学20	〒733-0812 広島市西区已斐本町 3丁目 9-6-504	小谷 隆春	大学22
山口県高千穂会	未 定			池田 辰男	大学23
香川県高千穂会	猪熊 憲雄	大学22	〒761-2308 綾歌郡綾川町羽床下 277-1	小河 正昭	大学32
高知県高千穂会	島崎 茂	大学22	〒783-0041 南国市岡田町定林寺 208	真鍋 豊志	大学29
九州北部高千穂会	最上 政則	大学19	〒805-0019 北九州市八幡東区中央 3-5-7	関谷由紀房	大学18
宮崎県高千穂会	田村 努	大学22	〒880-0930 宮崎市花山手東 2-33-2	南 貴彦	大学35
沖縄県高千穂会	未 定		設立準備中		

平成26年1月28日 現在



答 辞

卒業生代表

経営学部 笹金ゼミ
静岡県立沼津西高等学校出身
岡村 桃子

厳しい冬の寒さも和らぎ、穏やかな春風が新しい季節の到来を感じさせる今日この佳き日に、私たちは高千穂大学の卒業式を迎えることができました。

本日は、藤井理事長、並木学長をはじめ、諸先生方、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、私たち卒業生の晴れの舞台として盛大な卒業式を挙行していただき、誠にありがとうございます。卒業生を代表して心より御礼申し上げます。

思い起こせば4年前、私たちはそれぞれ大きな期待と不安を胸に、ここ高千穂大学に入学いたしました。新たな環境で、戸惑いを感じておりましたが、先生方や先輩方、新しい友人達との出会いにより、不安が希望へと変わり、充実した学生生活を送ることができました。

卒業生の皆さん、卒業を迎えた今、自分自身の4年間を振り返ってみてください。この4年間は楽しいこと、つらいこと、様々な経験をしてきたことと思います。今日卒業を迎えるということは、それら多くの壁を乗り越えたという証です。すべての経験が自分自身の自信や誇りとなり、大きな成長を遂げられたことでしょう。

私にとって、高千穂大学での4年間はあっという間に過ぎたように感じます。1年生の頃は慣れない新幹線通学に、自宅と大学の往復だけで疲れてしまい、毎日の生活に余裕が持てずにいきました。しかし、自分と同じ境遇で共に頑張ることのできる友人のおかげで大学生活にも慣れ、楽しむことができました。私は入学時に、成績優秀者になる、という目標を立てたので、目標に向かって学業に全力で取り組んできました。地道に努力を重ねた結果、目標を達成することができ、さまざまな知識を身につけることができました。これは、大きな糧となり、今まで自信がなかった自分にとって、大きな自信となりました。

また、私がこうして有意義な学生生活を送ることができたのは、多くの方々の支えがあったからです。熱心に指導して下さった先生方、悩みを分かち合い、いつも私のそばで支えてくれた友人、そして、陰ながら温かく見守り支えてくれた家族、私のために学費を工面してくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

今日この日を持ちまして、私たちは皆さんの思い出を胸に高千穂大学を卒

業し、それぞれ新たな道を歩み始めます。これからの人生で、経験したことのない厳しい状況や困難に直面することがあると思います。しかし、そのような時は、高千穂大学で学んだことを誇りに、4年間で培った精神力・忍耐力を発揮し、乗り越えて行きたいと思います。

また、3年前に起きた東日本大震災により、多くの尊い命が失われ、今なお大勢の方が悲しみに暮れております。改めて、命の重さ、平穏な生活を送ることのできるありがたさを実感しました。この経験を活かし、利他の心を持ち、私たちが学生生活で得た知識を広く社会に還元できるよう努力していきたいと思っています。

最後に、今日まで私たちに温かい励ましとご指導をくださいました藤井理事長、並木学長をはじめとする諸先生方、さまざまな形で支えてくださいました事務職員の皆様、そしてどんな時も支え続けてくれた家族と、これまでの学生生活に関わった全ての方々に重ねまして心より御礼申し上げますとともに、後輩の皆様のさらなるご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げ、高千穂大学のより一層の発展を願ひまして、答辞の言葉とさせていただきます。

送 辞

在学生代表

商学部 佐野ゼミ 簿記会計研究会
東京都立第四商業高等学校出身

関根 純司



卒業生の皆様、本日はご卒業誠に
おめでとうございます。在学生を代
表し、本学を巣立ち行く皆様へ、お
世話になった感謝と激励の意を込
め、心よりお祝い申し上げます。

高千穂大学に入学されてからの時
間は、先輩方にとってどのようなも
のだったのでしょうか。講義を受け
た日々、ゼミナールでの研究・発表、
クラブ・サークル活動や課外活動、
アルバイトなど、大変充実していた
ことと思います。その時間の中では
楽しいことばかりではなく、数多く
の困難に直面し、時には挫折しそ
うになったこともあったかと思い
ます。しかし、皆様は強い意志と自
らの力で困難に打ち克ち、今、この時
を迎えられているのです。これまで
の大学生活での経験が皆様方の糧と
なり、今後開花されることを在学生
一同、心より願っております。この
貴重な日々を共有できたこと、先輩
方と出会い、ご指導ご鞭撻をいただ
けたことを大変光栄に感じるととも
に、感謝しております。

これから先輩方は、夢を実現すべ
くそれぞれが選んだ道を進まれる
ことと思います。数多くの人と出会
い、そして別れもあるでしょう。こ
の先、大学時代の友人と会う機会は
少なくなるかもしれません。しか
し、どんなに離れていても、友情と
いう強い絆で結ばれている限り問題
にはなりません。皆様にとって、卒
業は決して別れの時ではなく、人間
関係をさらに広げ、そして深める一
歩を歩み出す時であると思います。
今ある絆を大切にしながら、これか
らの新しい出会いと夢に向かって、
羽ばたいてください。

今、皆様は、社会人になることへ
の大きな希望と不安を胸に抱きなが
ら、新たな旅立ちを迎える準備をさ
れていることでしょう。今日の経済
社会の状況は、景気回復の兆しが見
えてきたとはいえ、未だ不安定な様
相を呈しています。明日はどうか
わからない不確実な状態にありま
す。皆様の行く手には大きな困難が
あるかもしれません。でも、これま

での大学生活で困難を乗り越えてき
た先輩方ならば、これからの不確か
な未来を自らの力で切り開いてい
くであろうことを、確信しております。

高千穂大学に居ります我々もま
た、先輩方を見倣い、世に有為な人
材となるように、さらなる精進を重
ねてゆく所存であります。学園創立
110周年という長い歴史の中で、多
くの卒業生が築いてこられた高千穂
大学の伝統を大切に堅持し、さらな
る発展のため意欲的に活動・貢献し
ていくことをお約束いたします。

最後になりますが、新たな旅立ち
を迎える卒業生皆様方の社会でのご
活躍とご健康を祈念いたしますとと
もに、将来、再び出会える日を楽し
みに、心よりご卒業のお祝いを申し
上げます。

社会人になったら プロとしての自覚を持て

2011年高千穂大学を卒業し、プロ野球パ・リーグのオリックス・バファローズに入団した戸田 亮選手。プロ一年目で得た経験を元に、これから社会へ出て行く後輩に向けたメッセージをいただきました。

プロ野球選手として一年を過ごされました。まず今、どのような感想をお持ちですか。

戸田 やはり一軍のマウンドに立つことができ、大観衆の前で投げられたことが喜びでした。特に子どもの頃から憧れていた楽天イーグルスの松井稼頭央選手と対戦することができ、たくさんの歓声の中で投げるのはとても気持ち良かったです。そして、フレッシュオールスターに出場できたことも良い経験となりました。これはファームのオールスターですが、ふだん対戦の無いイースタン・リーグ*の選手と試合・交流することができ、有意義な経験になりました。

プロとアマの違いについて、どのように感じられましたか。

戸田 プロ野球選手としてのスタートは昨年の春キャンプからですが、まず痛感させられたのが基礎体力の違いです。初めて体験したプロの練習は自分にとってものすごくきつく、涼しい顔でメニューをこなしていく先輩選手の体力とパワーがとても印象的でした。

だからこのオフの課題として体力や筋力の強化を掲げて、これまであまりやってこなかったウェイトトレーニングをするためにジムへ通うなどして、今取り組んでいるところです。

2014年シーズンの目標を教えてくださいませんか

戸田 シーズン30試合登板の達成です。そのためには一年間を通じて高いパフォーマンスを維持しなければなりません。自らの課題として挙げた体力・筋力強化に向けてキャンプでしっかり取り組んでいきたいと思います。技能面としては変化球の取得とコントロールの向上を目指したいと考えてます。



© ORIX Buffaloes

戸田 亮 選手

オリックス・バファローズ

(高千穂大学 商学部 2010年度卒 新津ゼミ 東京都私立大成高等学校出身)

東京都私立大成高校から高千穂大学商学部へ入学。一部通算7勝、二部通算17勝を挙げる。卒業後はJR東日本へ入社。2012年のドラフトで6位指名され、オリックス・バファローズに入団。2013年9月13日一軍初登板。ポジションは投手。右投げ右打ち。身長183cm、体重80kg。背番号58。

プロ野球選手は^{げん}験を担ぐとよく聞きますが、戸田選手はいかがですか。

戸田 私は何かをするとき、すべて左から始めるようにしています。それはたまたま意識した日の試合で良い結果が出たので、それ以来やめられなくなりました(笑)。

この春に高千穂大学を卒業する後輩へメッセージをお願いします。

戸田 ご卒業おめでとうございます。卒業後は多くの方が就職されるでしょう。私は皆さんに、その職業のプロとして生活していくことを自覚してほしいと思います。そうすればきっと仕事で成果が得られ、自分自身に自信とプライドを持つことができるはずです。私もプロ野球選手として、この職業で生活していく覚悟と決意を持って日々頑張っています。入社するまでは不安でいっぱいかもしれませんが、大学に入学したときと同様すぐに慣れると思います。これまでの勉強と経験を生かして社会で羽ばたいてください。同じプロとして、皆さんを応援しています。

※プロ野球の二軍は、イースタン・リーグとウエスタン・リーグに分かれており、オリックス・バファローズはウエスタン・リーグに所属する。

頼られる先輩になりたい

兼城 和香

商学部 渡辺ゼミ 和弓部
東京都立第一商業高等学校出身



私が大学時代に頑張った事は部活です。体育会和弓部に所属し、女子責任者も務めました。弓道は大学から始めた初心者だったので、覚えることが多く苦勞しました。ですが頑張った分上達し、さらに部員と親密になり、厳しい練習も一緒に乗り越えることができました。交流会なども多かった為、楽しい思い出もたくさんできました。

就職してからも学ぶことばかりなので、まずは色々なことを吸収して自分自身の成長につなげたいと思っています。一人前になるのが最初の目標です。そして、大学で後輩が入って来た時のように、会社で後輩ができた



時、頼られ、助けることができる先輩になりたいです。社会に出てからも、常に自分を成長させていきたいです。

感謝の気持ちを忘れず

助川 菊枝

経営学部 小林ゼミ 高千穂祭実行委員会
東京都立墨田川高等学校出身



私が力を入れて取り組んできたことは、高千穂祭実行委員会での活動です。私の担当は、イベントの宣伝用大型看板や入り口に設置される大きなアーチを作成し来場者を導き、高千穂祭を盛り上げていました。夏の厳しい暑さの中での作業は、とても大変でしたが周りの仲間に支えられ、無事に後輩に引き継ぐ事ができ嬉しく思っております。

私は春から社会人になりますが、こうして新しい生活を迎える事ができるのも小林先生をはじめ就職支援課の方々や周りの支えがあってこそだと思います。本当に感謝しています。これからも周りの方々に感謝して仕事に



取り組み、先に前進していけるよう努めていきたいと考えています。4年間ありがとうございました。

卒業生メッセージ

一つひとつの出会いを大切に

竹村 香澄

人間科学部 染谷ゼミ 軽音楽研究会
埼玉県さいたま市立大宮西高等学校出身



私の大学生生活の大部分は、サークルでの4年間です。所属した軽音楽研究会では、自発性がなくいい加減な私を、先輩方は可愛がってくれ、同期のみんなは引っ張ってってくれました。皆が個性的で、魅力的で、刺激を受けながら私も成長でき、4年間本当にハッピーで充実した時間を過ごすことができました。

春からは私も社会人です。「早く自立したい」と、子供っぽくもずっと考えていました。精神的にも経済的にも自立し、両親が胸を張れるように、しっかりと生きていきたいです。大切な人との時間を大事にし、ファッションスタイリストという人と接する仕事においても、一つひとつの出会いを大切に、新しい生活を始めていきたいと思っています。



責任感を持って仕事に取り組む

佐藤 豪祐

人間科学部 百瀬ゼミ 教職課程
東京都立大島高等学校出身



高千穂大学での4年間では、貴重な経験を多く積むことができました。その中で、特にサークル活動が思い出に残っています。サークル活動では、サークルの立ち上げから、運営に携わり、団体をまとめることを通して、大きく成長できました。また、大切な仲間と出会うことができ、充実した大学生活を過ごすことができました。

私は4月から小学校教員として職に就きます。人の一生を左右する職業なので、その責任感をもって仕事に取り組みたいです。また、「目標をもつ」ことが、生活を充実させると考えるため、児童に将来の目標を抱かせることができ



るように指導していきたいです。私は今年で高千穂大学を卒業しますが、今後も、高千穂大学の卒業生として、高千穂大学に貢献していきたいです。

功労賞受賞者一覧

本賞は本学表彰規定により、他の学生の範となることを行った学生、学友会活動において顕著な功績を残した学生を表彰するものです。卒業後もより一層の精進を重ね、有為な人材として活躍されることを期待してやみません。

代表者メッセージ



中村 圭汰

商学部
楠美ゼミ
ゼミナール連合本部渉外局長
東京都立一橋高等学校出身

功労賞受賞にあたって

このたびは功労賞を頂くことになり、誠に光栄です。

私はゼミナール連合本部で、渉外局長として学内外を問わず活動し、学内では、新企画の立案・運営や後輩の育成に力を入れました。特に新企画を無事に運営し終えた時の達成感はすばらしいものでした。

学外ではゼミ発表会の経験を活かし、インター大会という学術大会の運営に力を注ぎました。学内外での立場の違いなど、辛いことも多々有りましたが、ゼミナール連合本部での経験は、人生の大きな糧になると思います。



花輪 栞

商学部
庄司ゼミ
学友会本部会計監査局長
神奈川県立伊志田高等学校出身

功労賞受賞にあたって

高千穂祭実行委員会で会計局、学友会本部で会計監査局の一人として活動をして参りました。また、高千穂祭実行委員会では会計局局長を務めさせて頂きました。

あの時こうしてれば良かったと後悔しても遅いので、まずは行動することが大切だと考え、あらゆる活動に頑張ってきました。

学生生活は本当にあっという間です。後輩のみなさんは今の時間を大切に悔いのないような学生生活を過ごしてほしいと思います。



商学部 林ゼミ
学友会本部会長
新潟県立高田商業高等学校出身
綿貫 良成



商学部 楠美ゼミ
学友会本部副会長
埼玉県立秩山経済高等学校出身
嶋田 友香



経営学部 黒川ゼミ
学友会本部副会長
東京都立杉並高等学校出身
小林 京介



経営学部 小林ゼミ
学友会本部企画局長
東京都私立黒学院高等学校出身
星野 貴広



商学部
学友会本部会計監査局長
東京都立深沢高等学校出身
長倉 里音



経営学部 小林ゼミ
学友会本部書記局長
東京都私立東京高等学校出身
安達 明則



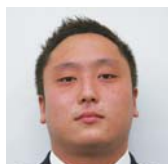
経営学部 庄司ゼミ
学友会本部企画局長
東京都立東村山高等学校出身
深谷 優



商学部 庄司ゼミ
学友会本部会計監査局長
神奈川県立伊志田高等学校出身
花輪 栞



商学部 園部ゼミ
体育会本部委員長
神奈川県立城山高等学校出身
熱田 知也



経営学部 渋谷ゼミ
体育会本部副委員長
東京都立田柄高等学校出身
中村 海良



経営学部 竹内ゼミ
体育会本部副委員長
茨城県立水戸商業高等学校出身
金澤 佑亮



商学部 恩蔵ゼミ
体育会本部書記局長
東京都立北野高等学校出身
吉野 有紀



商学部 成田ゼミ
体育会本部会計局長
東京都立駒場学園高等学校出身
中山 貴紀



商学部 林ゼミ
学術文化団体連合会本部副委員長
大阪府立向陽台高等学校出身
桐山 和範



商学部 嘉瀬ゼミ
学術文化団体連合会本部会計監査局長
東京都立第三商業高等学校出身
谷口 愛里沙



商学部 西山ゼミ
学術文化団体連合会本部会計局長
東京都立北野高等学校出身
八島 信明



人間科学部 小向ゼミ
学術文化団体連合会本部書記局長
東京都立坪井高等学校出身
斉藤 直樹



経営学部 藤芳ゼミ
学術文化団体連合会本部企画局長
東京都立一橋高等学校出身
牧野 隆一



経営学部 鈴木一成ゼミ
ゼミナール連合本部副委員長
東京都立正則高等学校出身
高梨 翔平



経営学部 小林ゼミ
ゼミナール連合本部編集局長
千葉県立津田沼高等学校出身
石川 明日翔



商学部 楠美ゼミ
ゼミナール連合本部会計局長
茨城県立水戸商業高等学校出身
小林 千瑛



商学部 楠美ゼミ
ゼミナール連合本部渉外局長
東京都立一橋高等学校出身
中村 圭汰



商学部 楠美ゼミ
ゼミナール連合本部企画局長
千葉県立館山総合高等学校出身
朝倉 成紀



商学部 西山ゼミ
ゼミナール連合本部編集局長
静岡県立静岡高等学校出身
朝原 知子



商学部 新津ゼミ
ゼミナール連合本部編集局長
東京都立科学技術学園高等学校出身
平山 佑太

高千穂ニュース

卒業後の各種利用や証明書発行についてのご案内です。ぜひご利用ください。

■卒業生の図書館利用について

卒業生の方も図書館が利用できることをご存知ですか？
本学は卒業生の皆さんの社会活動を応援するために、
図書館を開放していますので、多いに利用して下さい。

図書館の情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.takachiho.jp/> TEL 03-3313-0147

利用方法

図書館総合カウンターで「図書館利用カード」発行の手続きをお取り下さい。その際、身分証明書の提示と登録料1,000円が必要となります。図書の貸出も行いますが、貸出期限や利用時間が在学生とは異なる場合がありますので確認して下さい。

■証明書発行の申請について

卒業生が卒業証明書などの証明書を必要とする場合はインフォメーション窓口への直接申請（以下「窓口申請」）と、郵送による申請（以下「郵送申請」）の2種類があります。

「窓口申請」方法と証明書の受け取り

- ①窓口備付の「証明書発行申請用紙」に必要事項を記入し交付手数料をお支払いいただきます。
- ②申請後3日から7日以内（土日・祝祭日を除く）に発行いたしますので、所定期間を経てから事務取扱時間（平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30）に直接来校されたの受け取りか、郵送での受け取りになります。

「証明書」の種別と交付手数料

「卒業（修了）証明書」	200円
「成績証明書」	500円
「英文卒業（修了）証明書」	1,000円
「英文成績証明書」	2,000円
「単位修得証明書」	500円
「在学期間証明書」	200円

「郵送申請」方法と証明書の受け取り

- ①必要事項（申請者氏名・フリガナ・ローマ字氏名（「英文卒業証明書」と「英文成績証明書」のみ）・生年月日・申請者住所・電話番号・入学年月日・卒業年月日・学籍番号・使用目的・提出先・証明書の種別と必要数）を記入した文書（形式は自由）を作成してください。
なお、卒業後の氏名を変更された方は、在学当時の氏名を必ずご記入ください。
- ②①の「文書」と、交付手数料と同額の郵便小為替（郵便切手でも可）と住所・氏名を記入した返信用封筒、返信用切手を同封して申請してください。
- ③申請後3日から7日以内（土日・祝日を除く）に発行いたしますので、それ以降郵送での受け取りになります。
- ④なお、証明書発送後の郵便事故や不着には責任を負いかねますのでご承知おきください。証明書発送方法に「速達郵便（+280円）」や「簡易書留郵便（+310円）」を利用することをお勧めします。※郵便料金は平成26年4月1日料金改定後のものを記載。

申請先と事務取扱時間等

- 申請先
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1
高千穂大学インフォメーション証明書交付係
TEL 03-3313-0431
- 事務取扱時間
平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30
- 事務局休業期間
日曜、祝日、創立記念日（5月27日）、夏季・冬季休業期間

■白根セミナーハウスの利用について

- 北を仰ぎ見れば、白い綾線の美しい草津白根山、少し歩けば、雄大な浅間山もその噴煙とともに望むことが出来ます。
- 爽やかな風、澄んだ空気、素晴らしい自然に囲まれたセミナーハウスを卒業後も家族や気の合う友人と利用いただけます。
テニスやハイキング、紅葉に温泉、スキーと四季を通じて楽しむことの出来る白根セミナーハウスへ是非おいで下さい。

送迎バス	万座・鹿沢口駅からセミナーハウス間の送迎を行っていますので、希望される方は申し込み時にお申し出下さい。
申込方法	予約は利用日の2ヶ月前から受付を開始します。大学においでいただけない方はまず総務課（TEL 03-3313-0141 平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30）へご連絡ください。
定休日	毎週水曜日が定休日です。それに伴い、前日の火曜日からの宿泊はできません。
施設	収容人員50名 客室8室（エアコン、テレビ完備） 食堂50席 駐車場28台 セミナールーム 野外バーベキュー（5月下旬～9月末） テニスコート バドミントンコート 卓球台
利用料金（1泊2食付）	卒業生 4,000円（野外バーベキューは500円追加）
取り消し及び変更	使用日の3日前までに総務課（TEL 03-3313-0141 平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30）までご連絡下さい。それ以降の取り消しは、原則として利用料金の払い戻しはおこないません。

●所在地 〒377-1712 群馬県吾妻郡草津町前口3-107 TEL 0279-88-4026

●交通 上野より（直通又は渋川乗り換え吾妻線）万座・鹿沢口駅下車、送迎バスがあります。（約20分） 関越自動車道、渋川・伊香保ICより約1時間 上信越自動車道、碓井軽井沢ICから鬼押ハイウェイでの利用も可能

利用者心得

- ①チェックイン13:00 チェックアウト10:00
- ②公共利用場所（食堂等）の使用は21:00までとする。
- ③利用者は、使用許可書を管理人に提出し、宿泊者名簿に必要事項を記入のうえ、部屋割を受けること。
- ④利用者は、管理人の指示に従い部屋の清掃、整理、整頓、食器の後片付け等は各自で行うこと。
- ⑤施設、備品等を使用するときは、あらかじめ管理人に届け、指示に従うこと。破損した場合は、その実費を弁償すること。
- ⑥火気には特に注意し、喫煙者はマナーを守ること。
- ⑦施設内の風紀、秩序を乱したり、他人の迷惑となる行為をした者は以降の使用を禁止する。

ホームページでもセミナーハウスの詳しい情報をご覧いただけます。 <http://www.takachiho.jp/>

編集後記

卒業生の皆さん、おめでとうございます。4月から就職で、新たな世界に挑戦する方、または大学院などに進学で、自身の学びをさらに深める方。皆さんの道は同じ道のりではありませんが、高千穂大学で学んだ日々は将来の大きな糧となり、友人や先生方との出会いはかけがえのない宝となるでしょう。同窓会や高千穂祭には是非足を運んでいただき、卒業後の話を聞かせてください。お待ちしております。

編集委員
入試広報部 広報課
浅見 雅郁
坂田 利康
西原 正人





「大学基準に適合」の認定マーク

喫煙に関するルールについて

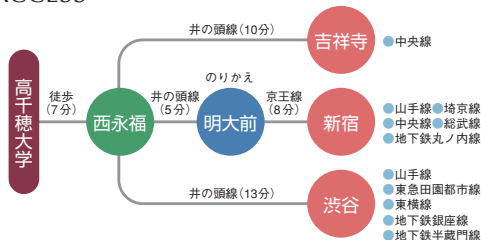
本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを禁止(一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収)しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きたばこや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前のりかえ)
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
- 西永福駅北口から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ somu@takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂

卒業特集号

Quarterly高千穂 卒業特集号 第46号
発行責任者：浅見 雅都 発行：高千穂大学
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141
発行日：平成26年3月20日 無断転載・複製不可

